

1学期の漢字

たしかめ 1

5	4	3	2	1
宣	枚	窓	筋	簡
テレビで宣伝中の新型自動車。	配る紙の枚数を数える。	車窓から眺める窓の外の景色。	背筋を伸ばし、筋骨たくましい若者。	雑多な情報を簡略化する。

たしかめ 2

10	9	8	7	6
視	並	裏	革	幼
視点を变えて考え直す。	並列に電池を並べ豆電球を点灯させる。	表と裏、裏側を「裏面」という。	動物の革で作った皮革製品。	幼稚園は、幼い幼児が通います。

たしかめ 3

15	14	13	12	11
姿	降	敵	敬	痛
晴れ姿、良い姿勢で写真を撮ろう。	電車を降りたら雨が降っていた。	相手は強敵、油断はするな。	目上の人を敬い、敬語で話す。	足を痛め、動くと激痛が走る。

たしかめ 4

20	19	18	17	16
閉	忘	呼	吸	胸
閉園の時刻が来たので門を閉じる。	忘却とは、忘れ去ることだ。	呼んでも返事が無い。人工呼吸を始める。	息を吸ったり吐いたりする「呼吸」。	胸の周りの長さを測る胸囲測定。

たしかめ 1

1	ざったな じょうほうを かんりやくかする。
2	背 ^せ すじを 伸 ^の ばし、きん骨 ^{こつ} たくましい 若 ^{わか} もの。
3	しゃそうから 眺 ^{なが} める まどの そとの けしき。
4	くばる かみの まいすうを かぞえる。
5	テレビで せんでんちゅうの しんがたじどうしゃ。

たしかめ 2

6	よう稚 ^ち えんは、おさない ようじが かよいます。
7	どうぶつのかわで つくった ひかくせいひん。
8	おもてと うら、うらがわを 「りめん」という。
9	へいれつに でんちを ならべ まめでんきゅうを てんとうさせる。
10	してんを かえて かんがえなおす。

たしかめ 3

11	あしを いため、うごく と 激 ^{げき} つうが はしる。
12	めうえの ひとを うやまい、けいごで はなす。
13	あいては きようてき、ゆだんは するな。
14	でんしゃを おりたら あめが ふっていた。
15	はれすがた、よい しせいで しゃしんを 撮 ^と ろう。

たしかめ 4

16	おねの まわりの ながさを はかる きよういそくてい。
17	いきを すったり 吐 ^は いたり する 「こきゅう」。
18	よんでも へんじが ない。じんこうこきゅうを はじめる。
19	ぼう却 ^{ぎやく} とは、わすれさることだ。
20	へいえんの じ刻 ^{こく} が きたので もんを とじる。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
郵	拝	補	創	朗
書留速達の郵便が届く。	礼拝堂で、心静かに神を拝む。	無くなった分を補うのが「補給」。	学校が創られた日が創立記念日。	朗らかで明るい性格、明朗快活な人だ。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
縮	紅	俵	仁	就
元の形を縮めて描いた図が「縮図」。	紅色にもみじの葉っぱが紅葉する。	米俵を一俵担げたら一人前。	仁義を重んじた戦国武将。	職に就くことを「就職」という。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
郷	展	域	班	尺
滋賀県の郷土料理の鮒寿司。	夏休みの作品を展示する。	私の学校の通学区域は広い。	登校班の班長に選ばれた。	千分の一の縮尺地図。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
賃	熟	異	覧	映
仕事の賃金上がる。	柿の実が熟れて真っ赤に熟した。	常と異なることだから「異常」。	展覧会の絵を見に行く。	映像をスクリーンに映すから「映画」。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
かきとめそくたつのゆうびんが届く。	れいはいどうで、こころしずかにかみをおがむ。	なくなったぶんをおぎなうのが「ほきゆう」。	がつこうがつくられたひがそうりつきねんび。	ほがらかであかるいせいかく、めいろうかいかつなひとだ。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
もとのかたちをちぢめて描いたすが「しゆくず」。	べにいろにもみじのはっぱがこうようする。	こめだわらをいっぴよう担げたらいちにんまえ。	じんぎをおもんじたせんごくぶ将。	しよくにつくことを「しゆうしよく」という。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
しがけんのきょうどりようりの鮒寿し。	なつやすみのさくひんをてんじする。	私のがつこうのつうがくくいきはひろい。	とうこうはんのはんちようにえらばれた。	せんぶんのいちのしゆくしゃくちず。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
しごとのちんぎんがあがる。	柿のみがうれてまっかにじゆくした。	つねとことなることだから「いじよう」。	てんらんかいのえをみにいく。	えいぞうをスクリーンにうつすから「えいが」。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
善	蚕	署	警	盟
善悪の判断はしっかりつけよう。	蚕から生糸を取る養蚕業。	駅前で署名活動をしている。	暴風警報が発令された。	日本は国際連合の加盟国だ。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
穀	欲	宙	宇	臨
米・麦・大豆など主食となる穀類。	欲張つて、何でも欲しがる妹。	軽やかに宙返りする体操選手。	宇宙旅行も夢ではない。	海に臨む場所にある臨海工業地帯。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
宗	蔵	樹	乳	遺
世界の三大宗教の一つが仏教。	蔵の中に秘蔵していた宝物。	この果樹園の梨は特別うまい。	乳を搾るために育てた乳牛。	世界遺産に登録された富士山。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
暮	存	推	恩	刻
毎日楽しく暮らしている。	日本にも象が存在していた。	計画を推し進める推進役になる。	犬は三日飼えば恩を忘れず。	地球の温暖化は深刻な問題だ。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
ぜんあくのはんだんは	かいこから	えきまえて	ぼうふうけいぼうが	にほんは
はんだんは	きいとを	しよめいかつどうを	はつれいされた。	こくさいれんごうの
しっかり	とる	している。		かめいこくだ。
つけよう。	ようさんぎよう。			

たしかめ 10

50	49	48	47	46
こめ・むぎ・だいずなど	よくばって、	かるやかに	うちゅうりようも	うみに
しゅしよくとなる	なんでも	ちゅうがえりする	ゆめでは	のぞむ
こくるい。	ほしがる	たい操 ^{そう} せんしゅ。	ない。	ばしよに
	いもうと。			ある
				りんかいこうぎよう

たしかめ 11

55	54	53	52	51
せかいの	くらの	この	ちちを	せかい
さんだいしゅうきようの	なかに	かじゆえんの	搾 ^し るために	いさんに
ひとつが	秘 ^ひ ぞうしていた	なしは	そだてた	とうろくされた
ぶつきよう。	宝 ^{たから} もの。	とくべつ	に	ふじさん。
		うまい。	ゆうぎゆう。	

たしかめ 12

60	59	58	57	56
まいにち	にほんにも	けいかくを	いぬは	ちきゅうの
たのしく	ぞうが	おしすすめる	みつか	おん暖 ^{だん} かは
くらし	そんざい	すいしんやくになる。	かえば	しんこな
している。	していた。		おんを	もんだいだ。
			わすれず。	

たしかめ

13

65	64	63	62	61
厳	傷	誤	系	供
厳重に厳しく見張る警備員。	傷口が浅く、軽傷で済んだ。	書き誤りを誤字という。	地球は太陽系に属している。	食品メーカー提供の番組。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
肺	腸	胃	段	論
肺から酸素を取り入れている。	腸で栄養を吸収する。	食べ過ぎて胃が痛い。胃薬を飲む。	安い値段で原料を買う。	口論をやめ、冷静に話し合う。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
危	私	舌	臓	脳
危ないぞ。そこは危険だ、近づくな。	私は生き物の世話が好きだ。	失敗し、思わず舌を出す。	臓器移植の手術が行われた。	大脳と小脳からできている脳。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
机	洗	割	卵	策
机の周りを整理する。	汚れた衣類を洗う機械が洗濯機。	仕事の役割分担を決める。	卵の中身は卵黄と卵白。	環境問題の解決策を考える。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
げんじゆうにきびしくみはるけいびいん。	きずぐちがあさく、けいしように済んだ。	かきあやまりをこじという。	ちきゆうはたいようけいにぞくしている。	しよくひんメーカーでいきょうのばんぐみ。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
はいからさんそをとりいれている。	ちようでえいようをきゆう収する。	たべすぎていがいたい。いぐすりをのむ。	やすい値だんでげんりようをかう。	こうろんをやめ、れいせいにはなしあう。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
あぶないぞ。そこはきけんだ、ちかづくな。	わたしはいきもののせわがすきだ。	しっぱいし、おもわずしたをだす。	ぞうきいしよくのしゅじゅつがおこなわれた。	だいのうとしょうのうからできているのう

たしかめ

16

80	79	78	77	76
つくえのまわりをせいりする。	汚れたいるいをあらうきかいがせん濯き。	しごとのやくわりぶん担をきめる。	たまごのなかみはらんおうとらんぱく。	環きようもんだいのかいけつさくをかんがえる。

85	84	83	82	81
若	暖	糖	砂	誕
夢と希望に満ちた若者達。	暖冬で暖かく雪も少ない今年の冬。	料理の仕上げに砂糖を加える。	砂鉄は砂の中に混じっている鉄。	今日は私の誕生日。

90	89	88	87	86
処	片	背	訳	巻
けがの応急処置をする。	二つの破片の片一方だけ拾った。	背中からバーを跳び越す背面跳び。	通訳をしてもらい、訳が分かった。	巻物は、一卷、二巻と数える。

95	94	93	92	91
亡	忠	誠	詞	誌
死亡事故の原因を究明する。	親の言いつけを忠実に守る。	何事も誠意を持って取り組む。	歌の歌詞を紙に書いて覚える。	雑誌の付録が楽しみだ。

100	99	98	97	96
障	疑	激	値	担
障害物競走で一位になった。	疑問に思ったら質問しよう。	激しい流れを激流という。	一億円の値がつく価値のある作品。	分担して負担を軽くする。

たしかめ

17

85	84	83	82	81
ゆめと きぼうに みちた わかものたち。	だんとうで あたたかく ゆきも すくない ことしの ふゆ。	りようりの しあげに さとうを くわえる。	さてつは すなの なかに まじっている てつ。	きょうは わたしの たんじょうび。

たしかめ

18

90	89	88	87	86
けがの おうきゅうしよちをする。	ふたつのは へんのか たいっぱうだけ ひろった。	せなかから バーを 跳び越す はいめん跳び。	つうやくを してもらい、わけが わかった。	まきものは、いっかん、に かんとかぞえる。

たしかめ

19

95	94	93	92	91
しばうじこの げんいんを きゅうめいする。	おやの いいつけを ちゅうじつに まもる。	なにごとも せいを もって とりくむ。	うたのかしを かみにかいて おぼえる。	ざっしの ふろくが たのしみだ。

たしかめ

20

100	99	98	97	96
しょうがいぶつきようそうで いちいになった。	ぎもんにおもったら しつもんしよう。	はげしい ながれを げきりゆうという。	いちおくえんの ねがつく ちの ある さくひん。	ぶんとんして ふたんを かるくする。